

# 1. モーツァルトと《レクイエム》

クリストフ・ヴォルフ「モーツァルトの《レクイエム》——事実とフィクション」より IN: モーツァルト研究の現在・WS01-181

1791	晩春 あるいは初夏	モーツァルトは《レクイエム・ミサ》、すなわち《死者のためのミサ曲》への匿名の依頼を受けた モーツァルトは50ドゥカーテンの謝礼を要求し、匿名の依頼者の使いは、25ドゥカーテンを前金で持参した
	9月半ば	《レクイエム》の作曲を始める
	11月20日	病床に伏す
	12月5日	モーツァルトが亡くなった時、曲はまだ完成していなかった
	12月10日	モーツァルトのための追悼ミサで《レクイエム》の最初の楽章が演奏された



ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)

新しい年代研究の示すところによれば、モーツァルトは《レクイエム》の作曲を、1791年の9月半ばにプラハより帰ってから始めた。彼は11月20日に病床に伏すのであるから、《レクイエム》の作曲には、2ヵ月少々時間しかなかったわけである。しかも彼には、《魔笛》K.620(9月30日初演)の総仕上げや、クラリネット協奏曲K.622の作曲、《フリーメイソン・カンタータ》K.623(自筆の作品目録の最後に11月15日付けで記入されている)の作曲と演奏といった仕事があった。[モーツァルトの《レクイエム》——事実とフィクション より]



モーツァルト夫人

コンスタンツェ・モーツァルト

Constanze Mozart(1762-1842)

モーツァルトは彼女の姉のアロイージアに愛を拒絶されたのち、父の反対にもかかわらず、1782年にコンスタンツェと結婚。彼らの6人の子供のうち、2人だけが成人した。モーツァルトの死後、コンスタンツェは夫の作品による演奏会を企画し、またそこで歌った。夫の遺産を責任をもって処理。1809年G.N.ニッセンと結婚し、彼のモーツァルト伝の執筆を援助。[モーツァルト大事典 より]



《レクイエム》の匿名の依頼者

フランツ・フォン・ヴァルゼック伯爵

Franz von Walsegg (1763-1827)

ヴァルゼックは、1791年の2月14日に21歳の若さで世を去った妻の記念として、1曲のレクイエムを注文した。[中略]伯爵は熱狂的なアマチュアの音楽家で、演奏を、自ら指揮する計画であった。[中略]伯爵夫人を記念した《レクイエム》の礼拝における演奏は、1793年の12月14日に、ヴィーナー・ノイシュタットで行なわれた。指揮は伯爵が、「ヴァルゼック伯爵作曲の《レクイエム》」と題されたスコアから行なった。[モーツァルトの《レクイエム》——事実とフィクション より]